

平成 25 年 6 月 11 日

各 位

会 社 名 ペプチドリーム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 窪田 規一
(コード番号: 4587 東証マザーズ)
問い合わせ先 取締役経営管理部長 関根 喜之
電 話 番 号 (03) 3485-7707 (代表)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 25 年 6 月 11 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は、以下のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円・%)

項目	平成 25 年 6 月期 (予想)			平成 24 年 6 月期 (実績)		平成 25 年 6 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	669	100.0	249.0	269	100.0	484	100.0
営業利益又は 営業損失(△)	171	25.6	—	△18	—	141	29.2
経常利益又は 経常損失(△)	175	26.2	—	△21	—	169	34.9
当期(四半期)純利益	136	20.4	1,369.2	9	3.7	133	27.6
1株当たり 当期(四半期)純利益	12円28銭			0円93銭		12円18銭	
1株当たり配当金	0円00銭			0円00銭		—	

(注) 1. 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

2. 平成 24 年 6 月期(実績)の 1 株当たり当期純利益及び平成 25 年 6 月期第 3 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり四半期純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。

3. 当社は平成 25 年 2 月 13 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。上記では平成 24 年 6 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成 24 年 6 月期及び平成 25 年 6 月期第 3 四半期累計期間の 1 株当たり当期(四半期)純利益金額を算定しております。

4. 平成 25 年 6 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数 1,660,000 株を含めた予定期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大 355,000 株)は考慮しておりません。

以 上

平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年6月11日

上場会社名 ペプチドリーム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4587 URL <http://www.peptidream.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 規一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 関根 喜之 (TEL) 03(3485)7707
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	484	—	141	—	169	—	133	—
24年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年6月期第3四半期	12	18	—	—
24年6月期第3四半期	—	—	—	—

- (注) 1. 当社は、平成24年6月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年6月期第3四半期の数値及び平成25年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権残高がありますが、平成25年6月期第3四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 平成25年2月13日付で普通株式1株を100株に分割し単元株式数を100株とする株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年6月期第3四半期	1,318		1,058		80.0
24年6月期	405		327		79.9

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 1,055百万円 24年6月期 324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

3. 平成25年6月期の業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	669	149.0	171	—	175	—	136	1,269.2	12	28

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年6月期3Q	11,226,300株	24年6月期	10,700,000株
② 期末自己株式数	25年6月期3Q	—株	24年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年6月期3Q	10,966,992株	24年6月期3Q	—株

(注) 平成25年1月11日開催の取締役会において定款の一部変更が行われ、平成25年2月13日付で普通株式1株を100株に分割し単元株式数を100株とすることが、決議されております。これにより、株式数は11,114,037株増加し、発行済株式総数は11,226,300株となっております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成24年7月1日から平成25年3月31日まで）において、当社では第一三共株式会社及び英国のGlaxoSmithKline Plc.（英国グラクソ・スミスクライン社）と共同研究開発契約を新たに締結し、国内外における契約総数は8件になりました。

また、既存の共同研究パートナーにつきましても、AstraZeneca Plc.（英国アストラゼネカ社）とは従来の共同研究開発契約で第3次延長を行い、Bristol-Myers Squibb Company（米国ブリストル・マイヤーズスクイブ社）とは共同研究開発契約の延長を行いました。また、平成24年11月にはNovartis Pharma AG（スイスノバルティス社）との第2次共同研究開発契約を締結するとともに、Novartis Pharma AGを割当先とする第三者割当増資を行いました。さらに、AMGEN Inc.（米国アムジェン社）とは新規テーマによる第2次共同研究開発契約を締結致しました。

共同研究開発自体も順調に推移しており、Bristol-Myers Squibb Companyとの共同研究開発において、平成24年10月には当社初のリード化合物が確認されました。これにより当社の特殊ペプチドの創薬研究開発は新たなステージに入ることとなりました。リード化合物に関しては、平成25年3月にも引き続いて2件目がBristol-Myers Squibb Companyとの共同研究開発において確認されました。

また、研究開発活動においては、自社パイプライン開発の体制強化のため国内外のアカデミアや先進企業との連携も図りながら、積極的に推進しております。その一環といたしまして、ペプチド医薬研究開発で実績のあるIPSEN, S. A. S（仏国イプセン社）と共同研究契約を締結しました。これは、当社の持つ特殊ペプチド創薬プラットフォーム技術（PDPS）とIPSEN, S. A. Sの持つペプチド創薬開発に関するノウハウを提供しあうことにより、特殊ペプチド創薬を推進させることを目的としています。

特許関連では、平成24年8月には、当社創薬プラットフォームテクノロジー：PDPS（Peptide Discovery Platform System）のコアになるフレキシザイムの特許が、米国に続き欧州で成立し、当社の特許・知財ポートフォリオの更なる充実、構築に貢献しています。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は484,479千円、営業利益141,378千円、経常利益169,317千円、四半期純利益133,607千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間の総資産は、1,318,150千円（前事業年度末比 912,281千円増加）となりました。流動資産は1,204,166千円（同 903,282千円増加）となり、現金及び預金が前事業年度末と比べて785,949千円増加したことが主な要因となっております。固定資産は、113,984千円（同 8,998千円増加）となっております。これは、主にその他の有形固定資産が6,057千円増加したことが主な要因となっております。

負債は、259,980千円（前事業年度末比 181,391千円増加）となりました。これは、前事業年度末と比べて前受金が124,552千円増加したことが主な要因となっております。

純資産は1,058,169千円（前事業年度末比 730,889千円増加）となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が前事業年度末と比べて133,607千円増加したことに加えて、第三者割当増資による資本金が299,000千円、資本準備金が298,282千円増加したことが要因となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ785,949千円増加し、1,015,177千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が89,565千円増加したものの、当第3四半期累計期間における税引前四半期純利益169,317千円の計上、前受金の増加額124,552千円等により、219,529千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出44,432千円等により、44,653千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、株式の発行による収入595,189千円等により、589,216千円の収入となりました。

(4) 業績予想に関する定性的情報

アライアンス事業の共同研究開発において、特に第2四半期会計期間及び第3四半期会計期間においてプロジェクト数が拡大し、またマイルストーンが2件達成されたこともあり、売上高は669百万円となり、当期純利益は136百万円となる見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	229,227	1,015,177
売掛金	39,155	128,720
繰延税金資産	32,498	58,755
その他	1	1,512
流動資産合計	300,883	1,204,166
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	104,985	107,731
その他(純額)	—	6,057
有形固定資産合計	104,985	113,789
無形固定資産	—	195
固定資産合計	104,985	113,984
資産合計	405,869	1,318,150
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,376	6,970
未払金	9,483	19,865
未払費用	13,330	23,779
未払法人税等	37,787	59,652
前受金	7,500	132,052
その他	8,110	17,661
流動負債合計	78,589	259,980
負債合計	78,589	259,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	108,750	407,750
資本剰余金	105,750	404,032
利益剰余金	109,711	243,319
株主資本合計	324,211	1,055,101
新株予約権	3,068	3,068
純資産合計	327,279	1,058,169
負債純資産合計	405,869	1,318,150

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	484,479
売上原価	176,358
売上総利益	308,121
販売費及び一般管理費	166,743
営業利益	141,378
営業外収益	
受取利息	68
為替差益	35,934
その他	1
営業外収益合計	36,004
営業外費用	
株式交付費	2,093
株式公開費用	5,972
営業外費用合計	8,065
経常利益	169,317
税引前四半期純利益	169,317
法人税、住民税及び事業税	61,965
法人税等調整額	△26,256
法人税等合計	35,709
四半期純利益	133,607

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	169,317
減価償却費	35,655
受取利息及び受取配当金	△68
為替差損益(△は益)	△21,856
株式交付費	2,093
株式公開費用	5,972
売上債権の増減額(△は増加)	△89,565
仕入債務の増減額(△は減少)	4,593
未払金の増減額(△は減少)	10,381
未払費用の増減額(△は減少)	10,448
前受金の増減額(△は減少)	124,552
その他	7,298
小計	258,821
利息及び配当金の受取額	68
法人税等の支払額	△39,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△44,432
無形固定資産の取得による支出	△221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	595,189
株式公開費用の支出	△5,972
財務活動によるキャッシュ・フロー	589,216
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,856
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	785,949
現金及び現金同等物の期首残高	229,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,015,177

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、アライアンス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年11月13日付けでNovartis Pharma AG（スイスノバルティス社）から第三者割当増資による払込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が299,000千円及び資本準備金が298,282千円増加しております。また、当第3四半期会計期間末において資本金が407,750千円、資本準備金が404,032千円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。